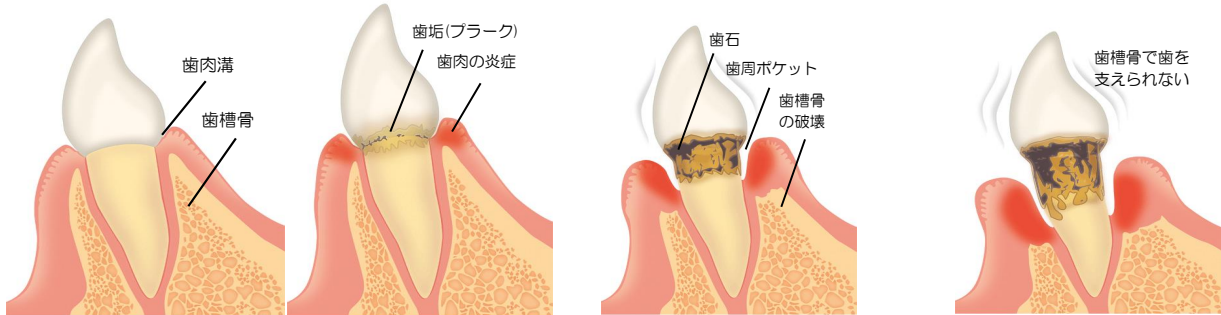


歯周病 とは

口の中の歯周病菌などが原因で、歯を支えている組織が徐々に破壊されていく疾患です。進行すると歯肉が赤く腫れ、歯を支える骨が溶け、最終的には歯が抜け落ちてしまいます。また、歯を失うと、咬みあわせに影響するだけでなく、体全体に大きな影響が及びます。さらに、歯周病が全身の様々な病気に関わっていることがわかっています。



健康な歯周組織	歯肉炎	歯周炎	重度歯肉炎
健康な歯肉は薄ピンク色で、引き締まって弾力があります。歯ブラシでこすっても出血しません。	歯垢（プラーク）、歯石が原因で、歯と歯肉の境目が赤く腫れ、出血します。歯周病の始まりで、痛みなどの自覚症状はありません。	歯肉の炎症が悪化し、歯肉が歯からはがれ、歯周ポケットが深くなります。歯を支える骨も破壊が始まり、古くなった血液成分を含んだ黒っぽい歯石が溜まります。 歯周ポケット：4～6mm	歯周病の末期症状です。歯肉は赤く腫れ、化膿します。歯槽骨の破壊が進み、歯がグラつき、噛めなくなります。口臭もひどく、歯周ポケットの細菌は歯肉の細胞を通り抜け血流に入ります。 歯周ポケット：6mm以上

参考：「歯周病対策で健康力アップ からだの健康は歯と歯ぐきから」公益財団法人 8020 推進財団
(平成19年12月発行)